

5. サークル編

高橋：今度の公演、楽しみだね。田中さん、主演やるの初めてだよな？

田中：うん。そう。すごくわくわくしてる。

高橋：もうセリフ覚えた？すらすら言える？

田中：もちろん！

田中：あ、部長だ。

佐藤：練習はじめるよ～！

田中と高橋：はい。

佐藤：じゃ、田中さんはそこからここまでふらふら歩いてきて。

田中：はい。(田中、ふらふら歩いてくる)

佐藤：そうそう。いいね。

佐藤：高橋君は田中さんをととても心配していて、後ろからこっそりあとをつけてきて。

高橋：はい。(高橋君が田中さんのあとをつける)

佐藤：そうそう。いいね。うん、いい感じ。え～と、じゃ、ここで通行人。田中さんをじろじろ見ながら通り過ぎて。

(渡辺、通り過ぎる途中でやや歩を止め、田中をじろじろ見てから通り過ぎる)

佐藤：で、田中さんはこのあたりでふと何かの気配に気がついて、さっと後ろを振り向く。(田中さんが後ろを振り向く)

高橋：うお！(高橋君少しびっくりする)

佐藤：う～ん、高橋君はもっとびっくりした感じを出して。

高橋：もっとですか？

(田中がもう一度後ろを振り向く。高橋君もっとびっくり)

高橋：うお！

佐藤：いいね。じゃ、続けて。

(高橋は携帯を出して話しながら後方へ行き右へ左へうろうろする)

佐藤：そうそう。高橋君はうろうろ歩きながら田中さんから離れて行く。(田中さんはまたふらふら歩きだす。田中ふらふら歩き出す。)

佐藤：OK!

佐藤：じゃ、次の場面の練習をしよう。ここは駅で電車がもうすぐ駅に入ってくる。

佐藤：田中さんはガタガタ震えている。

佐藤：高橋君は田中さんが電車に飛び込むんじゃないかとではらはらしながら見る。

(田中、ガタガタ震えている。)

(高橋、はらはらしている。)

佐藤：はい、じゃ、今日はこれで終わりにしようか。

田中、高橋：お疲れさまです。

高橋：あ～つかれた～。

田中：(時計を見る) あ、いけない！もうこんな時間！バイト行かなきゃ！

高橋：おう！じゃ、また明日～。

田中：またね～。

(田中、力を込めて、ドアをぐっと押して開く。)